



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2018年4月以降にバイオバンクおよび「脳脊髄液検査を用いた統合失調症・気分障害の生物学的マーカーの開発」にご参加いただいた方

【研究課題名】

脳脊髄液検査を用いた統合失調症・気分障害の生物学的マーカーの開発

【研究責任者】

服部功太郎（国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第三部）

【本研究の目的及び意義】

統合失調症や気分障害などの精神疾患も、まだ原因が分からないため、診断や治療は、医師との対話で行われています。もし、糖尿病や高血圧などのように、客観的な検査で診断できたり、状態を評価したり、薬を調節できるようになれば、より早く正確に、一人一人の状態にあった治療ができ、副作用も減らせる可能性があります。そのような目印を脳脊髄液で探すが、本研究の目的です。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液

精神疾患重症度評価

【研究期間】

2020年1月9日 ～ 2030年1月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)